

大阪ガスとブルースカイソーラーによる
非 FIT/非 FIP 太陽光発電所の開発（第 4 弾）について

2025 年 6 月 27 日

大阪ガス株式会社
ブルースカイソーラー株式会社

大阪ガス株式会社（代表取締役社長：藤原 正隆、以下「大阪ガス」）とブルースカイソーラー株式会社^{*1}（代表取締役：藤宮 康洋、以下「BSS」）は、2021 年に中小型太陽光発電所の継続的な共同開発に関する合意書を締結し、継続的な中小型太陽光発電所の共同開発を行っており、今回新たに、6 か所の非 FIT/非 FIP 太陽光発電所（合計容量約 0.8 万 kW、以下「本発電所」）を開発することを決定しました。

本発電所の開発は、両社が出資^{*2}する S&Dx solar3 合同会社を通じて実施する予定です。両社が共同出資を通じて太陽光発電所を開発するのは今回で 4 度目^{*3}となり、本発電所の開発により、合計 31 か所、約 2.6 万 kW となる見込みです。BSS が本発電所の運転管理・メンテナンス業務を行い、大阪ガスがオフサイトコーポレート PPA モデルにより、本発電所で生み出された電気と環境価値の全量を買います。本発電所は、順次建設を開始し、2026 年 7 月までの運転開始を目指します。

Daigas グループは、2050 年のカーボンニュートラル実現に向け、国内外で、自社開発や保有に加えて他社からの調達も含めた再エネ普及貢献量を 2030 年度までに 500 万 kW^{*4}に拡大することを目指しており、本発電所を加えると再エネ普及貢献量は約 374 万 kW になります。

BSS は、「自然エネルギーで未来を照らす」をコーポレートスローガンに掲げ、自然エネルギーを普及させることで社会へ貢献していきたいと考えています。BSS は、これまで太陽光発電設備開発を 34 万 kW、保安・管理受託を 88 万 kW、リパワリング（太陽光発電所再生事業）を 15 万 kW 実施してきました。

大阪ガスと BSS は、今後も再エネの普及と持続可能な社会の実現に向けて取り組んでまいります。

*1：BSS は、2023 年 6 月に、Sky Solar Japan 株式会社から太陽光発電開発事業を譲受

*2：BSS は、投資事業有限責任組合を通じて出資

*3：過去 3 回の取り組みについては、下記をご参照ください

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2022/1309106_49634.html

https://www.osakagas.co.jp/company/press/pr2023/1765922_54087.html

https://www.osakagas.co.jp/sp/company/renewable_energy/1781417_58209.html

*4：建設中や既に意思決定済みの案件及び FIT 制度の適用電源を含みます

■会社概要

<大阪ガス>

会社名	大阪ガス株式会社
本社所在地	大阪府大阪市中央区平野町四丁目1番2号
代表者	代表取締役社長 藤原 正隆
資本金	1,321億6,666万円
設立日	1897年4月10日
事業概要	ガスの製造・販売、電力の発電・販売 等

<BSS>

会社名	ブルースカイソーラー株式会社
本社所在地	東京都港区東新橋一丁目5番2号 汐留シティセンター8F
代表者	代表取締役 藤宮 康洋
資本金	25億5,100万（資本準備金・資本剰余金を含む）
設立日	2009年10月20日
事業概要	再エネ IPP 事業、発電所の開発・運営管理 等

以 上